

総合芸術舞台

古事記 一粒萬倍 A SEED

日本の創生と五穀豊穰の物語

日本の心と美を伝える



一般社団法人 一粒萬倍制作委員会

080-3926-2145 (松浦靖)

office@ichiryumanbai.com (事務局)

<https://ichiryumanbai.com/>

私たち一粒萬倍制作委員会は・・・

日本の心と美を伝える

お祭りと日本の芸能の原点である五穀豊穡への感謝と祈り～「いただきます」に込められた食の命への感謝の心をテーマにした、日本で唯一五穀豊穡をテーマにしたオリジナルエンターテインメント「一粒萬倍 A SEED」を制作・プロデュースしています。

一粒萬倍とは・・・

日本最古の歴史書・古事記をモチーフに、日本の成り立ちと八百万の神と稲穂

（五穀の種）が誕生し、五穀豊穡の恵みが私たちの世界にもたらされるまでの物語を、

(1)和と洋が融合したライブ演奏～和太鼓、邦楽囃子（小鼓、大鼓、能管・笛）、箏、尺八、弦楽器（バイオリン・チェロなど）、管楽器、等

(2)伝統と現代が融合した舞踊（能、狂言、神楽、歌舞伎・日本舞踊、現代舞踊、等）

(3)社会の安寧と繁栄・五穀豊穡を祈念する生け花

この3つの要素が融合した総合芸術舞台です。

セリフはほとんどなく、言葉の壁を越えて誰もが楽しめる内容となっています。

Our VISION&MISSION

(1)日本の伝統と文化の継承と郷土愛と自国の文化への誇りを育みます。

(2)世界に向けて、日本の歴史と文化、和の精神・感謝と平和を願う心を国際社会に広く発信し、更なる日本ファンの創出と日本ブランドの浸透につなげます。

(3)東京・地方・世界を一つにつなぎ、日本と地方の魅力を世界に伝え、地方創生につなげます。

(4)次世代への文化・技術の継承と、子どもたちに国内トップアーティストによる本物の体験をしてもらいます。

(5)「食」の物語を通して、いただきますに込められた食の命への感謝の心を伝え、食への意識アップの機会を創出します。



上演実績・受賞歴

2015年 10月 墨田区本所地域プラザBIG SHIP（初演）

2016年 10月 東中野・梅若能楽学院会館

2017年

1月 米国ロサンゼルス アームストロング劇場 在ロサンゼルス領事館後援、劇場招聘作品
禅宗寺奉納上演（米国ロサンゼルス）

10月 横浜 お三の宮日枝神社350周年特別奉納

2018年

5月 観世能楽堂（GINZA SIX内）

11月 観世能楽堂（GINZA SIX内）後援：外務省

2019年

4月 日本橋日枝神社奉納演奏 東証ARROWS 新元号記念上演

5月 観世能楽堂（GINZA SIX内）後援：外務省

6月 G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合・映像上映

2020年

1月 千葉県勝浦市 芸術文化交流センター上演 後援：外務省・勝浦市教育委員会

10月 東証ARROWS 天の岩戸開き上演

11月 観世能楽堂（GINZA SIX内）文化庁芸術祭参加作品 後援：外務省、愛媛県、宇和島市

2021年

3月 8K VR映像制作・配信(Blinky) 第三回アジア8K映像演劇祭上映

5月 千葉県勝浦市上演 共催：勝浦市教育委員会

12月 観世能楽堂（GINZA SIX内）後援：外務省 愛媛県 宇和島市 AFF（文化庁）

2022年

7月 軽井沢大賀ホール上演 後援・軽井沢町、軽井沢教育委員会 文化庁子供文化芸術支援事業

9月 サントリーホール大ホール上演 AFF-2（文化庁）

10月 えひめ南予きずな博シンボルイベント上演 主催：愛媛県

同月 南予文化会館上演 共催：宇和島市教育委員会 文化庁子供文化芸術支援事業

2024年

1月 愛媛県県民文化会館上演 共済・愛媛新聞 公益財団法人 愛媛県文化振興財団
文化庁子供文化芸術支援事業

10月 西日本経済同友会 会員合同懇親会オープニングアトラクション上演

12月 愛媛県県民文化会館上演 共済・公益財団法人 愛媛県文化振興財団
文化庁子供文化芸術支援事業

2025年

1月 観世能楽堂（GINZA SIX内）文化庁子供文化芸術支援事業

5月 楽曲「一粒萬倍」が公益財団法人 日本伝統文化振興財団 中島勝佑創作賞を受賞

舞台演目

第一幕

1. 序章 はじめのはじまり
2. 天の御心（アメノミナカヌシ）
3. 国生み～イザナギ・イザナミ
4. 黄泉の国／黄泉比良坂
5. 三貴神の誕生
6. スサノオ

第二幕

8. 暗黒世界～岩戸隠れ
9. アメノウズメ～岩戸開き
10. スサノオとオオケツヒメ～五穀の起源
11. アマテラス・稲穂の誕生
12. 一粒萬倍・五穀豊穰
13. 天の御心（アメノミナカヌシ）



演奏・太鼓、小鼓、大鼓、笛・能管、尺八、バイオリン、チェロ、箏

上演実績・音楽ホール

2022年サントリーホール 大ホール上演



語り・長塚京三



2022年輕井沢大賀ホールライブ



上演実績・地方上演

2024年、世界唯一の合唱法で西洋音楽界に衝撃を与えた台湾ブヌン族合唱団を招き国内トップアーティスト、愛媛の地元アーティスト、台湾とのコラボレーションで愛媛上演を行う。

愛媛県県民文化会館上演



2022年 えひめ南予きずな博吉田町上演

吉田町 2022年(令和4年)10月22日 土曜日

(8)

和の音色

和楽器の音色が、会場を暖かく包み込んでいく。伝統の技と、現代の演出が、観客の心を揺るがす。

生命躍動

躍動する生命のエネルギーが、会場を揺るがす。観客の心を揺るがす。

希望の種 吉田色の舞台

希望の種、吉田色の舞台。観客の心を揺るがす。

宇和島「一粒萬倍」写真点描

宇和島の文化を、写真点描で表現。観客の心を揺るがす。

表情豊かな

表情豊かな演技が、観客の心を揺るがす。

観客魅了

観客を魅了する演出が、会場を揺るがす。

11月3日に開かれる地域の秋祭りの「おねり」の一つ「鹿の子」が披露され、子供を食む7郎が実りへの感謝をさげた。

WIDE EHIME

ロサンゼルスで実証された海外で受け入れられる「一粒萬倍」の魅力

2017年、初めてのアメリカ上演では、口コミによる拡散によりチケットも3日前には完売。当日はキャンセル待ちの列ができるほどの盛況振りとなりました。

この上演を視察にきたJapan Foundationのスタッフも、いつもと違う客層（アメリカ人客の多さ）にアメリカ市場における日本の文化、芸能への期待感の高さを実感しました。

ラストではスタンディングオベーションの祝福を受け、劇場で配布されたアンケートからもアメリカ人観客から絶賛の評価を受けています。上演後もこの舞台の再演を期待する熱いメッセージが、在ロサンゼルス領事館、Japan Foundationへ寄せられ続けています。

「一粒萬倍」は文化、言葉の壁を越えて感動を共有できる作品であることがロサンゼルス公演で実証されました！



【在ロサンゼルス領事館のご意見箱に寄せられたメール 1】

先週土曜日、トーランスのアームストロング劇場で公演された『一粒萬倍』を観に行きました。エンターテインメントとしても素晴らしく、内容も深くて、とても素晴らしい舞台でした。

日本の伝統芸能と現代的な要素の混ざり合いが素晴らしく、日本人にもアメリカ人にも楽しめる、今までになかった素晴らしい演出だと思いました。

今回、残念ながらチケットが完売してしまったので行けなかった人が周りにたくさんいらっしゃいます。

また、私を含め、見てきた人たちの間からも、「もう一回見たい」という声がたくさん聞かれました。

ぜひ、ロサンゼルスでの再演をお願いします！

【在ロサンゼルス領事館のご意見箱に寄せられたメール 2】

トーランス市で1月14日に開催された一粒萬倍の公演は幻想的で大変きれいな舞台でした。

もう一度この素晴らしい舞台を観たいと願っているのは私だけではありません。又チケットが完売のため手に入らず見られなかった方達もおられます。

アメリカでは日本の文化や芸能に関心が高くなっていますが、一粒萬倍も映画化すればヨーロッパなどでも反響が大きいのではないかと思います。

再び当地でこの公演が実現されるよう今後も領事館が支援を続けて下さるようお願い致します。

一粒萬倍の再公演が実現されるよう領事館による支援を将来もよろしくお願い申し上げます。

上演実績

東京証券取引所 新元号記念ライブ～渋沢栄一翁の五穀豊穡の理念と共に

渋沢栄一翁の生涯の理念としたのが、社会の五穀豊穡～経済の繁栄とそこからもたらされる人々の幸せだった。

その理念のもと創立した東京証券取引所では、上場セレモニーで伝統的に鐘が五回鳴らされる。この鐘の回数は五穀豊穡の五に由来している。

一粒萬倍のコンセプト「五穀豊穡への祈りと感謝」とこの東証・栄一翁のコンセプトが合致することから、この新元号記念ライブが開催された。



G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合での映像上映

2019年6月 G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合にて一粒萬倍制作委員会の舞台4K & 8K映像が上映。舞台上演に加えて映像制作・配信も行うことで国内外に向けて情報発信をはじめる。



一粒萬倍 4K HDR10 Dolby Atmos



石田総務大臣



佐藤総務副大臣



G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合

五穀豊穡の花・実績

ライブ演奏と共に五穀豊穡の花が活けで舞台はクライマックスを迎えます。

*上演場所・内容により花の表現は変わります。



一粒萬倍 A SEED メインキャスト・演奏 プロフィール

能楽師 武田文志 観世流シテ方 重要無形文化財総合認定保持者

武田志房次男 父及び、26世宗家・観世清和、人間国宝・野村四郎に師事。

3歳にて初舞台、以後12歳まで子方（子役）として活躍。これまで延べ100番程のシテを勤め、数々の大曲にて年少記録を更新。海外公演多数。

日本舞踊 藤間翔 紫派藤間流

幼少より、祖母・紫派藤間流家元・初世藤間紫に師事。9歳で歌舞伎座にて祖母と共演、初舞台を踏む。その後歌舞伎「勧進帳」太刀持ち(弁慶・現市川右團次、富樫・市川猿弥)、義太夫「小鍛冶」稻荷明神(勅使・初世藤間紫、宗近・現市川右團次)、長唄「連獅子」仔獅子(親獅子・市川猿弥)等を務める。現在、二代目藤間紫(現市川猿翁)に師事。

ボールルームダンサー 金光進陪

全日本ラテンアメリカンチャンピオン。大学より元全日本チャンピオン桑原明男佐代子両氏に師事。学生全日本チャンピオンを経てプロになる。2015年の全日本選抜選手権、セグエ選手権でダブル優勝。ラテンアメリカン、ショーダンス両部門において世界選手権出場権を4年連続獲得。

現代舞踊 大橋美帆

3歳より谷乃梨絵に師事しモダンダンスを始める。日本大学芸術学部に進学、卒業時に学部長賞を受賞。平成30年度新進芸術家海外研修制度研修員としてイスラエルのKibbutz Contemporary Dance Companyのプログラムに参加。

主な受賞歴：平成23年度現代舞踊協会制定新人振付賞受賞。第48回埼玉全国舞踊コンクール現代舞踊成人の部第1位。第5回DANCE CREATION AWARD 創作シニア部門第1位。

日本舞踊 花柳茂義実

花柳茂実、花柳茂珠に六才より指事。茂実会在籍。花柳流師範。全国舞踊コンクール邦舞部・文部大臣賞受賞。「茂実会」東横劇場、国立小劇場にて古典日本舞踊出演。女流名家舞踊大会国立大劇場出演。2011年より「ひとつのメルヘン舞踊会」を主催。様々なアーティストと共演。

小鼓 望月左武郎 長唄囃子 重要無形文化財技能保持者

1966年東京初のプロ和太鼓団体「助六太鼓」創設。米国3都市で演奏・指導を行い、米国太鼓ブームの祖に。1968年歌舞伎囃子方・望月流に入門。許名後は尾上菊五郎劇団に所属、以後NHK、国立劇場などに出演。東京藝大にて非常勤講師も務める。

和太鼓・作曲 由有 太鼓プロジェクト「indra-因陀羅-」

1998年「大江戸助六太鼓」の一員としてプロ活動を開始。洋楽・邦楽を問わず様々な分野のアーティストと共演、楽曲提供、教授活動を経て2013年に独自の太鼓プロジェクト「indra-因陀羅-」を設立。2014年邦楽囃子方・望月武和珂を襲名。2025年、楽曲「一粒萬倍」が日本伝統文化振興財団中島勝佑創作賞を受賞。

笛/能官 鳳聲晴久

東京藝術大学邦楽科卒。9歳で祭囃子の手ほどきを受け、15歳で重要無形民俗文化財・若山胤雄師に祭・神楽囃子を師事。18歳で鳳聲流分家家元・鳳聲晴雄師に長唄囃子を師事。2004年の襲名後はジャズやオーケストラとの共演など幅広く活躍中。

箏 日吉章吾

東京藝術大学大学院卒。生田流箏曲の手ほどきを正絃社大師範・三木千鶴氏に受け、後に宮城社大師範・金津千重子氏に師事。2012年、生田流箏曲正絃社准師範免許皆伝。国内外で演奏活動に励み、2014年第21回全国送箏曲コンクール銀賞受賞。

*キャスト・演奏メンバーは上演内容や場所により変わることもあります。

作・演出 松浦 靖（一般社団法人一粒萬倍制作委員会 代表）

愛媛県宇和島市出身。明治大学商学部卒。1988年渡米。UCLA映画科・Extensionコースにて、ディレクション&アクティングを専攻する。

卒業後、映画、ミュージックビデオ、TVコマーシャルの制作業務、Avidエディターを経て、初のミュージックビデオ監督作品「Torchlight」がベストビデオ賞を受賞。これを契機にディレクターとしての活動を始める。

1999年、ダンシング・ベイビーを起用したトヨタ・キャミのシリーズは日本にダンシング・ベイビー旋風を巻き起こすと同時に、トヨタ初の視聴者好感度 No.1 スポットに選出される。

TVコマーシャルではトヨタ、ダンロップ、イワタヤ、日本コカコーラなどの作品でIBA、テリー賞を受賞する。

2015年、舞台「一粒萬倍」作・演出をきっかけに、舞台制作の活動を始める。

その後、一粒萬倍は能楽、神楽、日本舞踊、現代舞踊、花活け、邦楽、洋楽の融合した総合芸術舞台として現在に至る。20年以上の海外生活と世界各国での制作経験をいかしたグローバルな視点での企画・演出を得意としている。

現在、フリーランスディレクターとして映像制作をする一方で、一般社団法人一粒萬倍制作委員会の代表理事として日本の伝統と文化の魅力を国内外に向けて発信している。

【クライアントリスト】

Lexus、トヨタ、ホンダ、スズキ、NEC、Sony、キリン、B.V.D.、カルビー、ダンロップ、カシオ、日本コカコーラ、ビクター・JVC、Schick、オリンパス、AXA保険、JA共済、三菱ふそう、アキュビー、アース製薬、JFE、他

【講演会】

2015年	中央大学多摩キャンパス 「CM制作の裏側・日本と海外の違い」
2019年	新潟県三条南倫理法人会 - 日本のこころ「感謝のこころ」
2019年	東京・愛媛クラブ - 「神話・五穀の起源」
2019年	愛媛県松山市・がいな会 - 舞台「一粒萬倍」と愛比売命
2021年	愛媛県立宇和島南中等教育学校 「いただきますと日本のこころ」
2022年	軽井沢ルゼ クラシックサロン会・「アメノミナカヌシと日本人」
2022年	勝浦市立中学校講演 「一粒萬倍といただきますの心」
2023年	愛媛経済懇話会 「文化継承と地方創生・活性化への鍵」

【執筆】

2020年 愛媛新聞日曜版 道標にて1年間・月一回、海外での生活と映像制作から知ることができた日本文化の魅力と現在の活動をテーマにエッセイを連載。